

①15日(土)の行進 津→亀山

○小雨模様のなか18人で県庁前を出発。みな笑顔。コープの青年職員が2人来られたのと山口逸郎さんの影響か。新婦人津支部からも参加。脚の悪い高齢者も後ろから付いてくる。途中、高田本山で本降りになり、芸濃町の行進を中止。本山で休憩した後、津の人たちと別れて一路亀山へ。

○亀山天神町ではひどい雨の中を約20人が待っていた。予想より多い。簡単な引き継ぎ式ですぐ出発。福沢市議の絶妙のアドリブ・アナウンスでゆっくり進む。本降りなので行進もたいへんなのだが高齢者も黙々と歩いた。

○市役所は休日であるが副市長が出迎え、お茶の接待。亀山は好意的だ。豪雨のなかコールを続けてきた山口さんのファイトと広島への通し行進の決意に役場の人たちも感動していた。

②16日(日)の行進 亀山→伊賀

○昨日と打って変わって快晴。20人で関宿を歩き、300枚の沿道ビラを配布した。昨年に続いて土砂崩れで通行止めになった大和街道をコース変更し、名阪国道で伊賀に向かう。修理をしておいた労連の宣伝カーの音響は今年は快調で、これまでのようなトラブルに見舞われることもなく、アナウンサーのひと休みの間はジャズ風BGMの呼びかけCDを流す。

○伊賀支所で亀山からリレー旗を引き継ぎ。やや多めの25人で伊賀市役所まで行進。亀山の人たちも少なからず通しで参加され、伊賀の人たちを喜ばせた。ここでも川島さんの肉声アナウンスと山口さんの先頭コールとが相俟って行進隊をたえず鼓舞していた。「新婦人の新しいタペストリーも親近感があり、今年は沿道の市民の反応が良かったように思う」と責任者の森永さん。市役所の移転に伴う大きなコース変更もうまくいった。沿道ビラも300枚。

③17日(月)の行進 伊賀→名張→山添村

○伊賀→名張

いよいよ県内千秋楽。前夜は田中も山口さんと同宿した。晴れた気持ちのいい朝、新役場に30人が集まって出発式。この日もコープから2人が参加。美しい里山風景の中を歩きとクルマ移動を繰り返しながら青山へ向かう。ここでも山口さんの先頭コールがみんなを励まし続ける。黄色い風船とノボリ、タペストリー、ウチワなどのグッズがピースパレードらしく、いい雰囲気。沿道ビラも250枚。青山支所にて20人ほどでランチ休憩。みんなで自己紹介し、和やかに交流。出発式では支所長が挨拶された。

○名張→山添村

伊賀との引き継ぎから桔梗が丘駅、市役所まで歩き続ける名張コースは県内きってのアップダウンの多いロングコース。最終日なので連日の行進者には堪えるが、山口さんは疲れも見せずずっとコールを繰り返されていたところがすごい。さらに地元の93歳の被爆者、阿部さんも先頭横断幕を持って長い距離を歩かれ、山口さんを感動させていた。そのお二人に鼓舞され、行進団はずっと元気で賑やかであった。

また、アナウンサーの山本さん(新婦人)が美声コールに留まらず歌まで披露されて(大きな歌、青い空は他)参加者の喝采を浴びていた。

※今年の行進はなんといっても山口逸郎さんの超人的ながんばりが特筆されるが(多くの人を励ました)、行進の中身も変わった。地元のアナウンサーを配置し、町内名で呼びかけたこと、また新婦人のタペストリー、風船、プラカード、ウチワなどの手づくりグッズが目立ち、団体旗や幟はかなり減った。沿道から好感をもたれるような新しい時代の新しいピースパレードに脱皮する転機の年になったように思う。みなさんに深謝。 三重県原水協タナカ